



8/6 5年ぶり全国 全力でプレーします



天皇賜杯第74回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント（9/13～18、長野県）への出場を決めた秋山工業(株)の関係者らが報告のため市役所を訪れました。

キャプテンの梅崎凌さんは「チームに加入して1年目に経験した天皇杯に再び立ちたいと5年間練習してきた。今年は『捲土重来^{ひんどちようらい}』というテーマを掲げ、強かった秋山工業(株)をよみがえらせたいという思いでやってきた。過去の先輩方の成績を超えられるよう、全力で熱いプレーを見せたい」と意気込みを話しました。

8/9 チーム団結「つなぐ打線」



全日本中学生男女ソフトボール大会（8/11～13、大阪府）に出場する南中女子ソフトボール部の選手16人が市役所を訪れ、健闘を誓いました。

県予選は、持ち味の「つなぐ打線」を発揮し、順調に勝ち上がりました。ヤマ場だったという3回戦では強豪クラブチームと激突。延長戦に突入しても決着がつかず、抽選で勝利をもぎ取りました。運も味方に、代表の座を勝ち取ったナイン。曾我部菜由主将は「少しでも長く、みんなとプレーしたい。後悔しないように思い切り戦ってきます」と力を込めました。

8/9 全戦無失点で見事優勝！



第43回南海放送・JAバンクえひめカップ愛媛県U-12サッカー大会において優勝した新居浜市少年サッカースクール高津教室の選手らが報告のため市役所を訪れました。

キャプテンの浅井琉希さんは「決勝ではみんなが一つになって優勝できたことがうれしかった。また、全日本U-12サッカー選手権大会でも優勝して全国大会に行けるようにしたい」と大会を振り返ると同時に、次大会への意気込みを話しました。市長は「試合結果を見ると圧倒的な強さ。次大会でも県大会で優勝して、全国にいけるよう頑張ってください」と激励しました。

8/19 大会新記録でいざ全国大会へ



国内トップ選手が集結する「天皇陛下御即位記念2019ジャパンパラ水泳競技大会」（9/21～23、横浜市）に出場する木村倅彩さん（角野小5年）が、市役所で抱負を語りました。

木村さんは今年7月、愛知県での予選会に出場。3種目で大会新記録を樹立し、金メダルに輝きました。そのうち、女子100m自由形M2（10～12歳以下）クラスでジャパンパラの参加標準記録を突破。出場資格を得ました。

木村さんは「初めての大きな大会で緊張すると思うけど、自分のベストタイムが出せるように力を出し切りたい」と表情を引き締めました。

※捲土重来…一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すことのとえ。

8/24
~25

今年も高校生が笑顔と元気を届けに



市民文化センターで、「高校生笑い日本一決定戦『第9回笑顔甲子園』」が開催されました。漫才や落語など高校生によるレベルの高いパフォーマンスが次々と披露されました。

見事優勝を勝ち取ったのは、一人コントで会場を沸かせた有元さくら子（東京都）。2位…のぼ亭こなつ（愛媛県）、3位…ぬまこゆ（兵庫県）、審査員特別賞…快樂亭幸志（長野県）、日本笑い学会四国支部賞…与一（兵庫県）でした。

高校生たちの熱いパフォーマンスで沸いた真夏の2日間、新居浜に「笑いと元気」を届けてくれた高校生たち、ありがとう!!

8/24

SDGs をテーマに作品づくり



公募型美術展「にいほま SDGs アート・フェスティバル」に応募のあった 3,978 点の作品の中から、特に優秀な作品に対して表彰が行われました。最高賞となる「あかがね賞」受賞者は次の通りです。

【平面の部】○小学校 1～3 年…伊藤瑞姫さん
○小学校 4～6 年…トウルガノフ・ベクボル・ラハット・ベコビチさん ○中学校 1～3 年…マイラムベコバ・グルザダさん

【映像の部】○渡邊 涼樹さん
その他、各賞 75 人が受賞しました。10 月 18 日（金）まで美術館で全応募作品を展示していますので、ぜひご覧ください。

8/27

きょうだいでメダル獲得



全日本ジュニアテコンドー選手権大会（7月、長野県）のキョルギ（組手）の部に出場した松岡風也さん（東中2年）、風羽さん（浮島小5年）きょうだいがそろってメダルを獲得し、報告のため市役所を訪れました。

風羽さんは小学5年生女子41kg超級で準優勝。昨年頂点に立っただけに「もっといろんな技を練習し、また優勝したい」と雪辱を誓いました。風也さんは強豪ひしめく中学生男子61kg以下級で3位に輝きましたが「緊張で力が発揮できなかった」と反省しきり。「来年は思い切り技を出し、1位になりたい」と前を向きました。

9/2

106歳おめでとうございます!



9月の「老人の日」「老人週間」にあたり、満100歳以上の方がいるお宅や施設、市内4カ所を市長と議長が訪問し、17人にお祝い状と記念品を贈りました。今年対象となったのは、市内在住で大正8年12月31日以前生まれの121人（男性12人、女性109人）。

お寿司が好きという市内最高齢で106歳の長井アヤ子さん。長寿の秘訣を「何の気もなく、ホイホイと暮らすこと」と話し、「お大師様がおいで、と言うまで生きたい。子どもが元気で暮らしていることが一番うれしい」としっかりと口調で答えてくれました。